

自治会だより

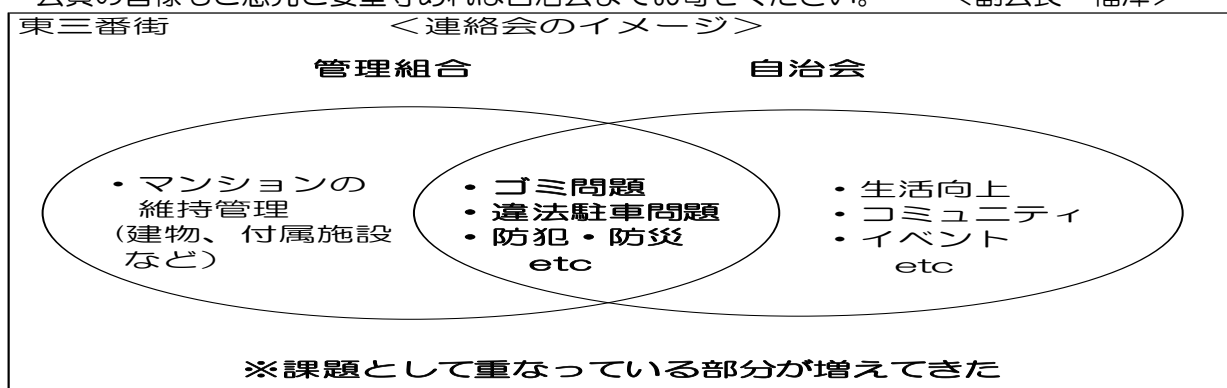


自治会・管理組合連絡会準備会開催について

管理組合発行の東三番街ニュース（7月号）にも掲載されましたが、去る6月27日、自治会・管理組合連絡会準備会の事前打ち合わせを実施しました。管理組合と自治会は、それぞれ組織の目的は異なるとはいえ下図のように生活圏は全く同一であり重複する課題も多いのが実情ですが、これらを共有して解決するための仕組みが存在しなかったため定期的に連携されているとはいえない状況でした。今回、自治会からの呼びかけにより、管理組合齋藤理事長、奥副理事長、自治会谷口会長出席（記録として事務局同席）のもと、準備会を開催することに合意し、今後の仕組み作りのための手順等についても意見交換を行いました。これからの予定ですが、まずは協定書を締結し、9月ごろから具体的な活動を開始する予定です。

（防犯・防災関連は既に専門委員会が始動中）

会員の皆様もご意見ご要望等あれば自治会までお寄せください。 <副会長 福澤>



防犯・防災からのお知らせ

<< 自主防災組織活動報告：避難所設営訓練に参加しました >>

令和3年度の春野小学校避難所運営訓練が6月26日14時から行われ、谷口会長、防災担当：保田、防災ボランティア5名が参加しましたので報告します。

今年の訓練の特徴は、昨年同様新型コロナウイルスの影響で一般参加者なく運営委員のみで行われたこと、避難所の設営に関しても、感染対策に重点を置いたことが挙げられます。

避難所の運営は誰が主体で行うかご存知ですか？（昨年の復習です）

さいたま市から春野小学校避難所に派遣される担当者は基本6名で、全員防災の専門ではない区役所、図書館、市税事務所等の一般の職員の方々です。実際の避難所の運営は、東一番街、東二番街、東三番街、東五番街とコスモ春野の5自治会で行うことになっています。つまり我々の避難所は我々が運営することになっていることを是非知ってください。

1. 今年の訓練の内容

今年の訓練は、台風接近に伴う風害を想定されました。具体的には、新型コロナウイルス感染防止対策を取ったうえでの避難所と災害対策本部設置の初動訓練です。主なコロナ対策は次のようなものです。

- ①マスク着用、手指消毒の徹底
- ②検温、手指消毒、健康状態チェックの徹底
- ③感染の疑いのある避難者と健全な避難者の避難場所・動線の分離

④避難場所でのソーシャルディスタンスの確保

今年から、まだまだ少量ではありますが、体育館の避難スペースを家族ごとに区画する段ボール製のパーティション（写真）が導入されました。

また、ゴミ袋やクリアファイルを利用したのコロナ用の簡易防護服（写真）が披露されました。見た感じですが、夏はすごく暑そうです。



東三番街自治会が担当する「給食班」は、水や備蓄食料の配布訓練を行いました。給食を供給する際は、受給者のソーシャルディスタンスの確保、受給者が自分の受給品以外のものに手を触れないような工夫が必要であることが確認されました。

また、今年も「まかないくん」による炊き出しは行いませんでした。

2. 「在宅避難」を第一に考える

避難所は、災害により家屋の損傷等で生活の場を失った場合、あるいは危険を避けるために一時的に滞在する施設です。避難所でのスペースや物資の限られた中での共同生活には次のようなリスクもあることを覚えておいてください。

①感染症のリスクが高まる

②慣れない環境での生活で体調を崩す

そのため、出来るだけ住み慣れた自宅で生活続ける「在宅避難」を第一に考えるようにしましょう。

3. 避難所へ避難する際には、衛生用品等を携行する

やむを得ず避難所へ避難する場合でも、避難所のマスクや消毒液等の衛生用品の備蓄には数に限りがあるため、各自が備蓄している衛生用品を携行した方が安全です。

携行すべき衛生用品の例

- ・使い捨てマスク
- ・消毒液
- ・石鹸（ハンドソープ）
- ・ウェットティッシュ
- ・室内履き
- ・ハンドタオル
- ・ペーパータオル
- ・使い捨て手袋
- ・体温計
- ・ビニール袋 など

避難所を利用する場合でも、計画的かつ十分な災害に備えた備蓄が必要になります。

<< 防災対策用として、400Wの強力投光器を購入予定です >>

6月26日に自治会自主防災組織の防災会議に出席し、災害備品について要望、意見を頂きました。主な意見として

①ブラックアウト（全戸停電）が起きた際には、既存のスミスライトでは、照度が低く暗い。

②水害対応に対する備えが、されていない。等のご意見を頂きました。

そこで、今年度のさいたま市防災組織補助金を活用し、大型投光器

（右写真:140×140×高さ 170～280 cm）とレインウェア等を購入する予定です。



その他の災害備品を含めると総額約 50 万円の購入になりますが、市の補助により 13 万円程度で購入可能です。現在、市に申請中で、申請が通り次第、購入手続きに入ります。今後の災害備品購入については、自治会自主防災組織からの通年度購入計画案に則り対応する予定です。
〈防犯・防災担当〉

深作多目的遊水地協議会および環境専門委員会からのお知らせ

1. 7月6日(火)、遊歩道に業務用清掃用具が大量に投棄されました。
翌日7日に大宮東警察署に連絡し、投棄ゴミから業者を特定できる物から捜査を依頼しました。当日、さいたま県土整備事務所、さいたま市産業廃棄物指導課も、現場に来ていただき確認を行いました。なお、ゴミは14日には、きれい片づけられました。



2. 7月25日(日)春岡自治会館で、今期初めての深作多目的遊水地協議会定例会を開催いたしました。

新自治会長(新理事)を迎えて、総会時に指摘があった遊水地周辺の課題について、具体的な意見交換を行いました。

主な議題として

- ①アカミミガメ問題(雑食で水草が生えなくなり、生態系への影響大)
- ②8の字公園周辺の桜並木対応(遊歩道に垂れ下がり、通行に支障あり。また、電線に干渉してきている)
- ③ひがしはる野側の直線道路に速度制限がない(公園から出る際に危険)

各々の内容については、各担当行政に状況確認を行う事になりました。



〈環境専門 塚本〉

クリーンメイトさんに、ゴミの出し方を聞いてみました

クリーンメイトさんに、いつも片づけているゴミについて（日常で困っている）ゴミの出し方について、聞いてみました。

①ダストボックスに出すゴミについて（月・木曜日回収日）

- ▶ 段ボール、古着、教科書は、回収しません（燃えるゴミの対象外です）。
→自治会資源物回収に出してください（協力をお願いします）。
- ▶ 蓋を閉めないと、カラスが生ごみを出して散乱し付近が汚くなります。
→奥のダストボックスが必ず空いています。

②燃えないゴミについて（金曜日回収日）

- ▶ 小型家電（充電式乾電池、デジタルカメラ、ビデオカメラ、ゲーム機、ラジオ、ACアダプター等）は、出せません。
→さいたま市の回収ボックス（春野図書館等）に出してください。

さいたま市が全戸配布している「家庭ごみの出し方マニュアル」または「さいたま市ゴミ分別アプリ（スマホアプリ）」に詳細が記載されています。活用願います。

なお、ゴミの出し方も細かくなっていますので、自治会案内の修正を、検討いたします。



（スマホアプリ）

<衛生担当>

7月度資源物回収日と資源物回収状況

★資源物回収対象品目は、「新聞」「段ボール」「雑誌」「牛乳パック」「繊維」「アルミ缶」の6品目です。

①資源物回収日

8月7日（土）、8月21日（土）両日も、集会所玄関前に、当日の朝から午後2時までの間にお持ちください。（台車も自治会掲示板付近にご用意しています。）

②資源物回収状況

6月度	2,540 kg	（前年度比 90.7%）	含むアルミ缶	40 kg
1月～6月度の累計	14,240kg	（前年度比 90%）	含むアルミ缶	180 kg

自治活動（各役員）って、どんな活動しているの？

会長、副会長以外の各役員の自治会活動を自治会だより6月号～9月号にてご紹介します。

<体育>

新型コロナウイルス感染症防止対策の関係で夏休みラジオ体操、秋の春野地区市民大運動会が中止となりました。このほかにもアーバン夏祭りなども中止や縮小開催を余儀なくされている昨今です。早くコロナがおさまって以前の活気が戻ることを祈るばかりです。

<厚生文化>

主な活動は9月の敬老会と1～2月頃に行う三東会に関わる業務です。敬老会は春野地区合同ですので、打合せにより各自治会で役割を分担し進めていきます。三東会は東三番街独自の行事ですので会長と相談しつつ準備し、当日の進行を担当します。敬老会、三東会ともに役員全員の協力があります。昨年度に続き今年度も敬老会は記念品の配布のみとなりましたので、役員全員で分担して対象者にお届けいたします。

連絡事項

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、下記イベントは中止となりました。

- ①夏休みラジオ体操
- ②春野地区敬老祝賀会、ただし対象の方々に記念品を贈ります。
- ③春野地区市民大運動会
- ④はるおかわらぬフェスティバル

<会長 谷口>

春岡村の伝説

シンダンベ（春岡の方言）

「シンダンベって知っているかい？」と丸ヶ崎新田の農家のおじさんが聞いてきました。春岡の郷土史『思い出の春岡』の方言のページを開いてみると…

「水田に棲み白色で僅か2～3分位の極小さい虫だが人畜に触れると刺す。」

おじさんの話しによると、シンダンベは水田にぷかぷか浮いていて胴体の長さ 1.5 cmくらい、色は白っぽく、長いしっぽが伸びている虫だということです。春岡周辺ではだいたい昭和30年代半ばころまで普通にいたらしいのですが、今ではすっかり目にすることはなくなりました。「素足で田んぼに入ってこいつに刺されるととっても痛いんだよ～。ヒルやこいつに刺されないよう巾木（ゲートルみたいな布）を足に巻いて田んぼに入ったもんだ」と言っていました。死ぬほど痛いというわけで「シンダンベ」と呼ばれたのでしょうか。

さて、この虫の正体は「オナガウジ」と呼ばれるハナアブの幼虫です。胴体から伸びたしっぽは呼吸管で、これをシュノーケルのように水面に出して呼吸しながらゆらゆらと泳いでいます。生活排水や家畜の排泄物の流れ込む水溜まりや排水溝といったところが住み家です。春岡周辺では昭和30年代半ばまで肥溜めが村のあちこちにありました。また、今なら一家に一台トラクターのように、昭和初期から昭和36～37年頃までこの辺の農家は一家に一頭農耕牛を飼っていたそうです。また、豚も飼っていたそうです。そんなわけでアブが普通にいたのでしょう。それにしても、昭和36年頃まで「モー」とか「ブヒブヒ」といった啼き声があちこちから聞こえていたのですね。昭和23年生まれの丸ヶ崎新田の人は、地元の言葉でダイヤクセ（大悪水＝田んぼの排水路）、今の深作川のところで中学生くらいまで牛の餌の草を刈るのが子どもの仕事だったそうです。



農耕牛のほとんどは赤毛の朝鮮牛でした。それ以前は牛ではなく馬を飼っていました。馬の場合は牛のように一家に一頭というわけにはいかなかったようで、明治8年の調査で深作村牡馬46頭、丸ヶ崎村は牡馬9頭という記録があります。ちなみに戸数は深作村176戸、丸ヶ崎村109戸でほとんどが専業農家でした。写真は丸ヶ崎新田の道端に立つ大正5年銘の「馬頭観世音」、馬のお墓です。

※自治会だよりで以前紹介した「寅子伝説」ですが、8月29日（日）春野図書館の歴史講座で「丸ヶ崎に伝わる寅子伝説」の講演があります。講師は見沼歴史倶楽部の斎藤文孝氏です。（参加申込は8月5日から電話または直接図書館へ）平山由喜

便利で身近な存在

地域No1スーパー

BELX

東大宮店

良い商品を毎日安く

地域の皆様に

お届けします

TEL 682-0646

武蔵野銀行

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために



深作支店

さいたま市見沼区深作2-1-2

電話 (048) 688-5191



【販売と施工】
水漏れの修理からリフォームまで
システムキッチン・冷暖房設備
ユニットバス・トイレ洗面化粧台等

・営業時間 9:00~19:00
・定休日 日曜、祭日

お湯・水・ガス・住まいのリフォーム

有限会社 **古沢商店**

お見積り無料 TEL 0120-230-371

さいたま市見沼区深作2-23-8

地域のホームドクター

内科、皮膚科、小児科、

リハビリテーション

春野クリニック

深作3-40-5

(Tel)680-1122

休診日：日祭日

月～金 9:00～13:00

15:00～19:00

土 9:00～13:00

14:00～17:00

(30分前で受付終了)



皆様の御協力に
感謝申し上げます。

眼科全般
日帰り白内障手術

のいり眼科
クリニック

東大宮6-9-1

☎048(688)7575

バス停：東大宮6丁目・丸ヶ崎 近く

診療時間 9:00～12:30

15:00～18:00

休診日 土曜午後・日曜・祝日